

現在、スポーツフェスティバルに向けて子どもたちは毎日全力で練習しています。本番で輝くためにもこの努力はとても大切です。

スポーツフェスティバルの演技の一つに「檜の葉ソーラン」と称したよさこいがあります。これは長い歴史があり8年前にいた私の時も力を入れて進めてきた1つでもあります。

先日、郷人の代表である渡部一さん、渡部光さんに来校していただきました。その中で、一番力を入れてご指導いただいたのが「人としての礼儀」です。一さんからはまずは声を出すこと、あいさつをすること、返事をすること、これは将来社会に出た時一番大切な事だと教えていただきました。光さんからはよさこいの基本を教えていただきました。全てにおいて人として、そして踊るにあたっての基本が一番大切である事を学びました。

学校教育においても同じです。人としての心を育て、将来社会に出た時に自分一人で生きていける力をつけていくために、日々子どもたちへ伝えています。

地域の方々から学ぶことは子どもたちにとっても我々にとっても大変貴重な経験です。人としてどうあるべきか、子どもたちなりに何かを感じてくれたらうれしいですね。

フェスティバル当日、あいさつを含めたキレイッキレの檜の葉ソーランに期待してください。



今年度のテーマ「挑戦」

～挑戦し続ければ
人は必ず成長する～

